

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 前田 俊

- 1 日時 令和5年10月20日（金）第5校時
- 2 学年 第6学年2組 34名
- 3 単元名 守ろう伝えよう！海田の町 ～西国街道の伝統を守り、み力を発信しよう～

4 単元目標

探究のサイクル1

○外国の人も関心を向ける「西国街道」の魅力とは何なのかを探ろう。

探究のサイクル2

○「西国街道」の魅力を、ガイドをして伝えよう。

探究のサイクル3

○海田の良さを発信するために、自分たちにできることを実行しよう。

5 単元について

(1) 教材について

本校校区は歴史資源の豊かな町である。校区内には西国街道が通り、大坂と下関を結ぶ宿駅の一つとして発展した歴史がある。御茶屋跡、脇本陣跡からも当時の発展の様子が想像でき、千葉家や三宅家は戦火を逃れ今なお現存し、平成23年からは「西国街道・海田市ガイドの会」によるガイドツアーも開かれ、歴史や文化を学びに多くの人が訪れている。また、地域の方がその町並や景観を大切に守り、ガイドツアーはボランティアの方によって支えられている。

児童がそうした町の歴史を調べ、町の魅力を発信する活動に取り組むことは、自分たちの住む地域を誇りに思い、ふるさとを守り、さらに発展させていこうとする意欲につながるものとする。また、町の人たちの思いに触れることで、能動的に地域とつながり自己の生き方について考える態度を養うことができると考える。

毎日目に触れることのできる身近な歴史を教材とすることで、探求のサイクルをスパイラルに回転させながら知識を広げ、自分とは考えや立場の違う人と接する中で、コミュニケーション能力を育み、自己の在り方について深く考える態度も期待される。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに3年生では福祉、4年生では防災、5年生では食文化について学んでいる。課題をもって積極的に取り組む児童が多く、93%の児童が肯定評価をしている。6年生になってからは、「地域」をテーマに学習を始め、事前アンケートから、「自分達の住む海田町のことが好きですか。」という問いに対して、肯定評価をした児童は90%だった。しかし、「地域の文化や歴史のことを知りたいですか。」という問いに対しては、肯定評価が70%だった。このことから、文化や歴史を愛することで、より地域を愛する思いを築くことに繋げていく必要がある。

学習の中で、多くの人に知ってもらいたいという児童が多くいたが「(今までの総合的な学習の時間で)調べたことを進んで発表できた」という児童が59%だった。主体的に発信していくことにも課題が見られることや、思いを発信する中で、文化や歴史を守っている人の思いにも触れ、人の思いに触れつつ、「ひと・もの・こと」の3つの面から学習を深めていく必要があると考えられる。

(3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

| 資質・能力 | 手立て |
|-------|--|
| 主体性 | 校区内の身近な「西国街道」の歴史を教材とし、魅力を発信する相手意識を明確にし、自ら見つけた課題に対して取り組む探求のサイクルを繰り返すことを通して、一人一人の児童の願いや興味・関心が生かされる主体的な学びを促す。 |

| | |
|------------|--|
| コミュニケーション力 | 振り返りで表出される個々のよさを多く取り上げることで自信をもたせ、次の学びにつなげるようにする。グループ活動での目的を明確にし、思考ツールを活用しながら焦点化を図ることで、どの児童も話合いに参加できるようにする。さらに、協働して活動し、様々な対象者に積極的に関わることができるようにする。 |
| メタ認知 | 毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。その際、プロセスにも注目させたり、観点を明確に掲示したりして、自分自身の成長を実感し、振り返りの意味を実感できるようにする。 |

6 評価規準及びルーブリック

(1) 評価規準

| 評価の観点 | | |
|---|--|---|
| ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学習に取り組む態度 |
| <p>ア 地域の歴史や文化、その地域を愛する人々の工夫や努力、願いについて理解している。</p> <p>イ 地域の魅力発信という課題の実現に向かうためには、人や組織と目的を共有して取り組むことが必要であることを理解している。</p> <p>ウ 地域に対する見方と自己の考えの広がり、探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p> | <p>ア 西国街道の伝統を守り、魅力を発信するというテーマについて、課題意識を持ち、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。</p> <p>イ 海田の歴史や、それを守り伝える人々の努力や工夫や魅力発信の方法について、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。</p> <p>ウ 整理した情報を比較・分類したり、多面的・多角的に考察したりして、「西国街道の魅力発信」への解決に向けて考えている。</p> <p>エ 「西国街道の魅力発信」に向け、相手や目的、意図に応じ、発信の仕方を検討し、工夫して表現している。</p> | <p>ア 探求活動を通して、毎時間学びを振り返り、自ら設定した課題の価値や協働して学ぶ良さに気づき、自分の意思で探究的な活動に取り組んでいる。</p> <p>イ 「西国街道の魅力発信」に向け、自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重しながら、協働して学び合っている。</p> <p>ウ 地域と共によりよく生きるために、学んだことを自己の生き方とつなげて振り返り、実社会の問題の解決に取り組もうとしている。</p> |

(2) 探究のサイクル②におけるルーブリック

| 資質・能力 | | | B 目標を概ね達成した状態 | A 目標を大きく達成した状態 |
|---------------|------------|--------|---|--|
| 知識・技能 | メタ認知 | ア ウ | 異なる視点を取り入れるよさ、他者と協働して活動に取り組む良さに気づき、自分自身の成長が分かる。 | 物事を多面的・多角的に捉えるよさ、他者と協働して活動に取り組むよさに気づき、自分自身の成長が分かり自己の生き方につなげて考えることができる。 |
| 思考・判断・表現 | コミュニケーション力 | ウ エ | 整理した情報を比較・分類して、目的や意図に応じて考察し、工夫して表現している。 | 整理した情報を比較・分類して、目的や意図に応じて多面的・多角的に考察し、よりよい工夫をしながら表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 主体性 | イ | 自分なりの方法を考えて探究活動に取り組んでいる。また、他者と協働して学び合っている。 | 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。 |

7 指導と評価の計画（全45時間）

*別紙1：「単元構想図」参照

8 本時の展開

| 本時の目標 海田市ガイドの会の方, 魅力作り推進課の方, 海田町外に住む卒業生の話を聞き, ガイドツアーの内容や方法について多角的視点を取り入れながら話し合い, 主体的に西国街道の魅力を発信するための課題を解決しようとする態度を育てる。 | | |
|---|---|---------------------------------------|
| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準 (評価方法) |
| <p>1 前時の振り返りを確認する。</p> <p>本時の学習活動を確認し, 本時のめあてを設定する。</p> | <p>○前時の振り返りを確認しながら, 発表の原稿ができていつでも発表できることを確認する。</p> <p>○これから行うガイドツアーへの思いを3人の人に語ってもらっている映像を視聴する。</p> | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて 様々な人の思いを生かした発表にできるようにグループで話し合おう。</p> </div> | | |
| <p>2 グループで発表原稿や発表の仕方を確認し, ジャムボードを使い話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【例】 説明の中に自分の驚いた感想も入れたらいいね。</p> </div> | <p>○「考えを広げる話し合いの仕方」を提示し, 話し合いの仕方を意識させる。</p> <p>○各グループに分かれて, 発表原稿の見直しから, PMHシートに付箋で記入を行う。</p> <p>○PMHシートのH(How)の部分を班で話し合い, 明らかにしておく。</p> | <p>【③-I】 (ジャムボード・発言分析)</p> |
| <p>3 グループのPMHシートを全体で交流する。</p> | <p>○電子黒板に各グループのジャムボードを映し, 他のグループの内容と関連付けて話し合ったことを発表させ, H(How)の内容を全体で交流し, 考えを深める。</p> | |
| <p>4 グループのH(How)の内容を全体で考える。</p> | <p>○それぞれのグループの「おもてなしの心」の表現の仕方を話し合う。</p> | |
| <p>5 本時の学習を振り返り, 次時の学習活動を確認する。</p> | <p>○次の活動の見通しを持たせるために, 今日の学習の振り返りをさせて, 気付きや新たな発見などを共有していく。</p> <p>○振り返りの視点を「ホップ・ステップ・ジャンプ」から選択して振り返らせるようにする。</p> | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ホップ: なるほどと思ったこと。 ステップ: 理由や根拠。まねしたい考えや方法。 ジャンプ: 学ぶ前との変化。次の学びにどう生かすか。</p> </div> | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り 初めは, 発表内容がバッチリだと思っていたけど, 海田町を愛している人の思いを聞いて, 自分たちの発表に故郷を思う心やおもてなしの心が足りないことに気付いた。おもてなしの心を相手に伝えるように声の調子や話し方で表現していきたい。また, 他のグループの意見をもとに, もう一度だけ話し合っ, より良い発表にしたい。</p> </div> | | |

9 板書計画

めあて 様々な人の思いを生かした発表ができるようにグループで話し合おう。

海田市ガイドの会 森重さん

写真

自分の感動を織り交ぜて！

魅力づくり推進課 ○○さん

写真

「おもてなしの心」は入っている？

瀬野川を守る会 中村さん

写真

故郷を思う気持ちを入れて！

☆グループの発表の仕方を3つの観点で評価しよう

| P プラス: Plus よいところ | M マイナス: Minus ため处ところ | I イロハ: Iroha おももしろいところ |
|-------------------------|----------------------------|------------------------------|
| | | |

どうやったら
「おもてなし
の心」を伝え
られる？